

『重要文化的景観「佐渡西三川砂金山由来の農山村景観」笹川集落案内サインと地域デザイン』  
が「2013年度グッドデザイン賞」を受賞しました!

2013年10月1日(火)

笹川の景観を守る会  
佐渡市  
ナグモデザイン事務所  
(有)イー・エー・ユー

このたび、2011年9月新潟県で初めて国の重要文化的景観に選定された「佐渡西三川砂金山由来の農山村景観」における笹川集落に設置された案内公共サインと地域の取り組みが、2013年度グッドデザイン賞を受賞しました。サインは300年以上笹川で続いた砂金山の歴史とその形跡を伝える石積み水路などの内容を現地で伝えます。デザインは、笹川集落の住民によって構成される「笹川の景観を守る会」のメンバーを中心に、これからの集落の在り方も含めた議論をしながら進められ、2013年3月に12基設置されたサインは、守る会のメンバーと一緒に盤面の取り付け作業を行い、地域に愛着をもって使い続けてもらえる公共サインの実現を目指しました。

審査では『素朴でシンプルなデザインであり、砂金山固有の農山村景観に溶け込み、かつ住民参加の制作プロセスをもって地元民の愛着を喚起することで、昔から見られる地蔵への思いやりと同様に設置後の住民主体の利活用を促すことができる点(※審査委員会による評価コメントを引用)』などが評価されました。

これからも、美しい笹川集落の景観を守りつつ、愛着と誇りをもって、地域の価値を高めていく取り組みを続けていきたいと思えます。



設置を終えて記念撮影をする受賞作品(右から4番目)

- 事業主体名:佐渡市
- プロデューサー:佐渡市世界遺産推進課、新潟県世界遺産推進室
- デザインディレクター:篠原修/デザイナー:南雲勝志、崎谷浩一郎
- お問合せ:佐渡市世界遺産推進課調査係 担当:若林篤男(0259-63-5136)
- グッドデザイン賞webサイト <http://www.g-mark.org/>

- サイン仕様/本体:高さ約1500mm(GLより上部)、幅200mm、約16kg、支柱、笠、金具込み(木材は除く)、ステンレスアクリルシリコン系樹種焼付塗装仕上げ/表示面:高さ500mm、幅300mm、厚み30mm、約1.7kg、面積0.15m<sup>2</sup>、越後杉、文字レーザー加工